

会 議 録

会 議 の 名 称		令和6年度第1回守谷市地域自立支援協議会
開 催 日 時		令和6年5月31日（金） 開会：16時00分 閉会：17時00分
開 催 場 所		守谷市役所 大会議室
所管課		健幸福祉部 健幸長寿課（令和5年度：社会福祉課）
出席者	委 員	城賀本会長、新田委員、稲田委員、上野委員、河井委員、清水委員、 小野寺委員、酒井委員、横田委員、染谷委員、寺田委員、野地委員 計12名
	事 務 局	森山課長、横山補佐、石福係長、千葉主任、齊藤主任 計 5名

審 議 経 過

○報告事項 守谷市障がい者基幹相談支援センターについて

【主な意見等】

- （事務局）守谷市障がい者基幹相談支援センターでは、専門職を配置し相談対応を行う。その他、医療的ケア児者の災害時個別避難計画の作成の予定。
- （委員）福祉避難所は、医ケアの受入れが可能なのか。福祉避難所の情報の周知は。
- （事務局）医ケアの受入れの体制は取れていない。医療機器や電源の確保の必要性がある。引き続き交通防災課とも検討していく。あらかじめ福祉避難所として事前に周知しておらず、発災後の状況を判断し、状況に福祉避難所の開設になる。
- （委員）障がい者が指定避難所に行ってから福祉避難所に行くのはハードルが高い。
- （事務局）現時点では指定避難所において、個別の教室等が用意できるかどうかを検討しながら、体制を整えていければと考えている。

○協議事項 移動支援について

【主な意見】

- （事務局）守谷市での移動支援事業に、通学及び通所（通年を除く）を対象とする運用を検討する。
- （委員）障がい児の保護者会で、移動支援のアンケートを実施したところ、ボランティアにお願いすることについては、意見が二つに割れた。
- （委員）まちづくり協議会で、移動支援プロジェクトを作り、高齢者や障がい者の方の移動支援のしくみを検討した。突発的な事故に対しての対応をどうするか等の課題があり、断念した。一律の仕組みを作るのはかなり難しい。
- （事務局）個々の特性などがあるため、一般的なボランティアの方で対応というのは現実的には難しいと事務局でも考えている。

会 議 録

会 議 の 名 称		令和6年度第2回守谷市地域自立支援協議会
開 催 日 時		令和6年9月27日（金） 開会：16時00分 閉会：17時15分
開 催 場 所		守谷市役所 大会議室
所管課		健幸福祉部 健幸長寿課（令和5年度：社会福祉課）
出席者	委 員	城賀本会長、新田委員、稲田委員、上野委員、河井委員、清水委員、高橋委員、小野寺委員、酒井委員、横田委員、毛利委員 計11名
	事 務 局	森山課長、横山補佐、寺田係長、石福係長、千葉主任、齊藤主事 計6名

審 議 経 過

○報告事項

（1）令和5年度守谷市障がい者福祉計画（第3期）実施状況について

【主な意見等】

（委員）どの障がいがあっても保育園に入れるのか。

（事務局）障がいの状況によって（特に医ケア）看護師の配置の関係で受入れが難しい場合もある。公立の保育所としては、土塔保育所は建物が古くバリアフリーになっていないため対応が難しく、北園保育所で受入れの調整をしている。

○協議事項

（1）令和5年度守谷市障がい福祉計画（第6期）・守谷市障がい児福祉計画（第2期）進捗状況について

【主な意見等】

（委員）サービスの利用実績について、すべてのサービスの達成度が右肩上がりではあるが、事業所の数は足りているのか。満足度調査などはしたことがあるのか。

（事務局）事業所開設の際規制はかけていないため、開設を断ることはしていない。満足度調査は今後していきたいと思う。

（委員）中学校の介護補助員が小学校に比べて少ないのはなぜか。今後増えていけば良いと思う。

（事務局）各学校の状況を見ながら、必要数を配置している状況。学校から要望があれば人員配置をする流れになっている。